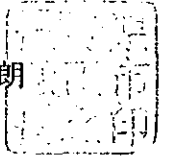


20 飯 国 県 第 6 1 号
平成 20 年 10 月 24 日

国土交通省
道路局長 殿

飯田市長
牧 野 光 朗



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号にて依頼のあった標記について、別添資料の通り提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

都市部への一極集中を是正し地方の定住自立方策が本格的に論議される今日、当市では地域をパワーアップして経済自立度を高めるために産業施策をはじめ様々の施策を推進してきています。このことは安心して健やかに住み続けられる地域づくりの目標に他なりません。起伏も多く地形の複雑な地理条件下での経済活動と生活には道路の機能向上が欠かせないと共に、近隣の圏域(三遠南信地域)と交流を促進するため高規格道路(三遠南信自動車道)の早期開通が最重要と認識いたし、以下について意見と提案を申し上げます。

○地方の道路の必要性和道路行政の在り方

1. 公共交通機関が脆弱な地方における道路の役割は、経済と流通のみならず通勤・通学や福祉と緊急医療などまさに「命を繋ぐみち」となるものであり、道路が地方における生活の基礎インフラであります。
2. 地方の道路整備率が未だおよそ50%の現状からは、継続して道路整備することが地方定住自立のための絶対条件であります。
3. 広域ネットワークを形成する高規格道路も地方自立に欠かせない基幹インフラであり、関連地域の実態と意思に基づく真に必要な道路を最優先で整備すべきであり、単に交通量と費用便益のみにより取捨選択すべきではないと考えます。

○道路の維持管理について

1. 社会資本として整備されて経済成長を支えてきた道路ストックも老朽化が進み、安全安心な交通のためには国と自治体の責任においての維持修繕が継続されることが重要です。
2. 国道の地方移譲が論議されていますが、国土の骨格を成す幹線道路は、広域的な見地で一体的かつ統一した規格での維持管理が安全交通に繋がるものであり、引き続き国が管理すべきであります。

○道路財源の確保について

1. 地方の道路整備率が未だ50%と低い現状からは、都市部の整備率アップのみを理由に財源削減することは到底受け入れられるものではありません。
2. 都市部の道路整備が充足した今日、その配分は都市部を薄く地方を厚くすべきが目的税としての道路特定財源の本来の姿であり、一部一般財源化はやむを得ないとしても地方への配分は減少すべきではないと考えます。
3. 道路特定財源の用途については新しい道路のみを槍玉としての不要論が横行しているが、維持修繕等管理に要する経費増大が今後の課題であるので、ユーザー負担の原則は堅持して必要な財源確保を行うべきと考えます。

○その他

道路特定財源の不適正支出や特殊法人との不透明な随意契約など国民感情として受け容れ難い実態が報道されているが、速やかに是正すると共に真に無駄のない執行体制の構築を求めます。

○現状

飯田市は、「文化経済自立都市」を目指し、若い人たちが一旦は地域の外に出ても、いずれは飯田に戻ってきて、安心して子育てをし、次の世代を育んでもらえるような長期的な「人材のサイクル」を創っていくことが必要と考えます。

この、「人材サイクル」は、「帰ってこられる『産業づくり』」、「帰ってきたいと考える『人づくり』」、そして「住み続けたいと感じられる『地域づくり』」を推進することで実現可能になります。

これらの、『〇〇づくり』を実現するにはまず社会の基盤となるインフラの整備が必要であるが、中山間地を多く抱える飯田市を中心とする南信州地域においては特に道路の整備が急務と考えており、地域の要望も道路整備への期待(60%)が、福祉政策優先への期待(23%)を大きく上回っている。

三遠南信自動車道整備を核として、県域を跨ぐ三河・遠州・南信州の地域住民をはじめ、産業界、経済界、行政等が一体となって必要性を議論し、高い自立性と圏域の発展を願った「三遠南信地域連携ビジョン」を策定した。

○課題

○広域幹線道路の整備

- ・通行不能区間の存在する国道整備(152号地蔵峠、青崩峠)
- ・三遠南信自動車道の早期開通
- ・中央自動車道恵那山トンネルの特別料金撤廃及び危険物積載車両の通行制限撤廃

○地域生活道路の整備

- ・三遠南信自動車道建設に伴う市道等関連道路整備

○交通安全対策

- ・通学路確保のための歩道設置及び拡幅
- ・冬季の雪寒対策

○救急医療と危機管理

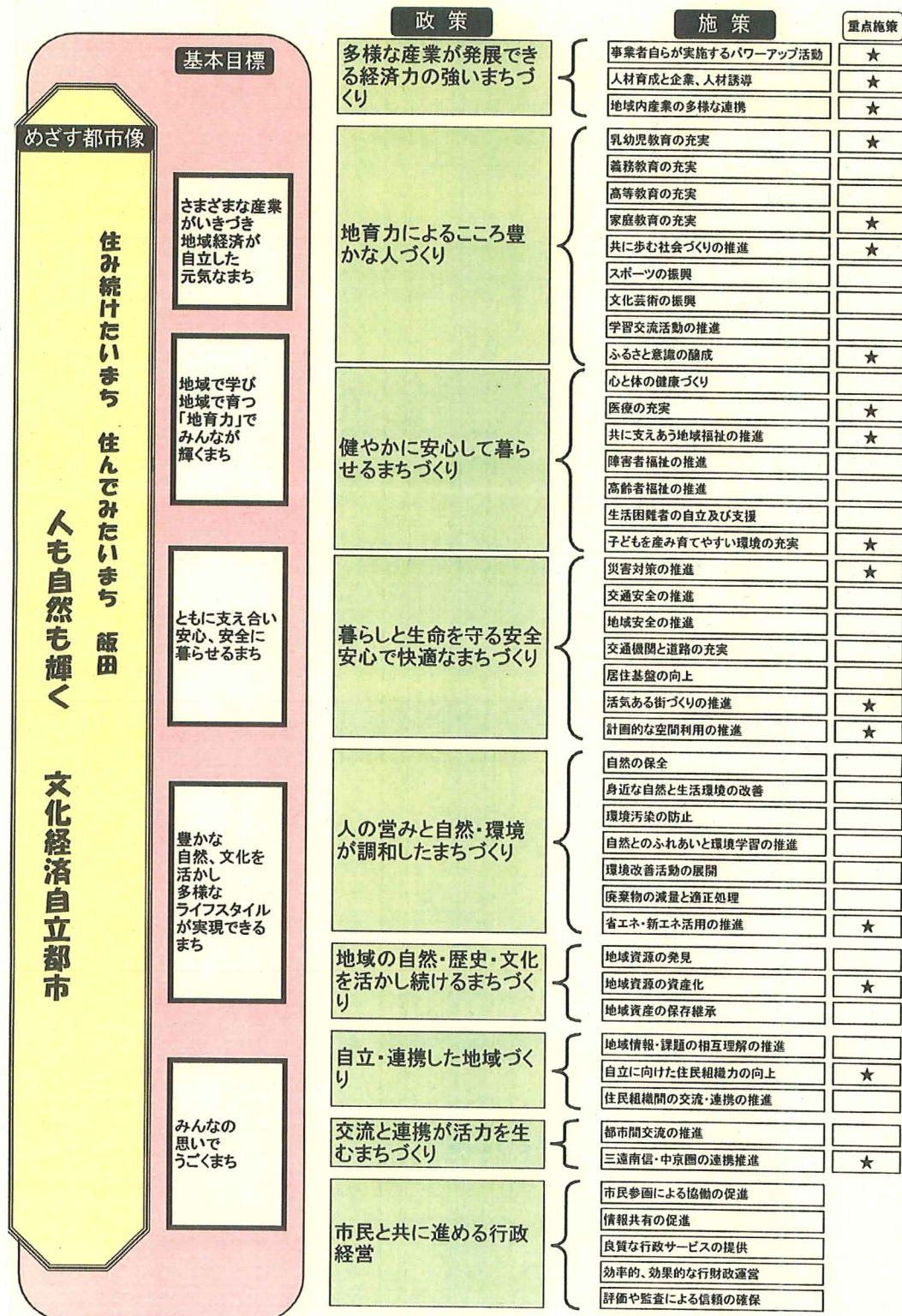
- ・救急時の高度医療対応
- ・災害時の避難と救援対策

○その他

- ・道路維持管理体制の充実
- ・自主財源の確保

飯田市は、「文化経済自立都市」を基本理念に各種施策を展開する。(下図参照)

第5次飯田市基本構想基本計画
めざす都市像、基本目標及び政策施策体系



★道路に関連する主要な事項

- ・三遠南信自動車道の整備促進
- ・通行不能区間の存在する国道の解消(地蔵峠・青崩峠)
- ・恵那山トンネル特別料金の撤廃、危険物積載車両の通行禁止措置解除
- ・幹線道路の渋滞解消(飯田南バイパス等)
- ・三遠南信地域連携ビジョンに基づいた連携事業の強化・推進

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

長野県飯田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・三遠南信自動車道整備	※飯喬道路1工区開通による効果 ・エコバレー地区への企業進出 ・天龍峡等観光地への入り込み客の増 ※全線開通後に期待できる効果 ・広域連携による安全・安心な地域の形成 - 生活環境の維持と質的向上 - 多文化共生の基盤づくり - 広域的な防災体制の確立 ・持続可能な産業集積の形成 - 既存産業の活力増進 - 新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成 ・中山間地域を活かす流域モデルの形成 - 自然資源の循環モデルの形成 - 流域定住促進モデルの形成 ・観光立地の促進 ・高度医療圏域の拡大 - 救急医療に必要な時間短縮	